

平成29年度  
～大牟田まち歩き  
定時ツアー～  
平成29年10月号

# まち歩き通信

Since 2015. 04. 21.

発行所

大牟田観光協会

TEL. 0944-52-2212

発行日 平成29年(2017)10月26日(木曜日)

## 世界遺産と古墳巡り

早鐘眼鏡橋、三池炭鉱専用鉄道敷跡、  
宮原坑、旧三池集治監出張所跡、  
駿馬天満宮、潜塚古墳

国指定重要文化財と世界遺産を巡る「大牟田まち歩き定時ツアー」が十月二十一日に行われました。台風21号が来つつある中、天候が心配されましたが、無事に雨に降られることもなく、各施設を巡ることができました。

### 早鐘眼鏡橋

昭和四十五年国指定重要文化財。延宝二年に造られた水道橋で、諏訪川右岸に灌漑するためでした。明治二十二年に起きた熊本地震で早鐘池の底に亀裂が入り、お役御免となりました。



### 三池炭鉱専用鉄道敷跡

明治十一年の馬車鉄道に始まり、蒸気機関車から電気機関車へと変わり、明治三十八年に三池港まで開通し、専用鉄道敷の全体像が完成しました。現在、早鐘から荒尾市西原までの跡地が世界遺産となっています。

### 宮原坑

明治三十一年に開坑し、明治から昭和初期の三池炭鉱の主力坑の一つでした。宮原坑の主用途は、坑内の湧水を排出することでした。採炭には囚人を使用し、その労働の苦しさから「修羅坑」と呼ばれていました。



### 旧三池集治監出張所跡

三池集治監は明治十六年に開庁し、囚人を三池炭鉱で採炭作業に従事させました。集治監からここまで看守に連れられ移動してきました。移動に際しては、女性の姿を見せないよう、又、タバコの吸い殻を拾わせないように留意したそうです。

### 駿馬天満宮

菅原道真公を祭神として承平二(933)年創建されました。毎年三月と九月に「覺替神事」の大祭が行われ、多くの参拝者が賑わいます。境内には、県指定文化財の宮原石層塔残欠と宮原天満宮石幢残欠があります。また、川上朴史句碑と猿渡晴雨句碑もあります。

### 潜塚古墳

昭和五二年に国指定史跡となりました。箱型石棺二基と沢山の副葬品が発見されました。築造年代は四世紀前半と考えられています。



次回「大牟田まち歩き定時ツアー」告知

開催日： 11月18日(土)

「路面電車の軌道敷跡巡り」

大牟田観光ボランティアガイド

リーダー：境 明憲 サブリーダー：内田 朝夫

記録：田中 國宏 が案内致しました。